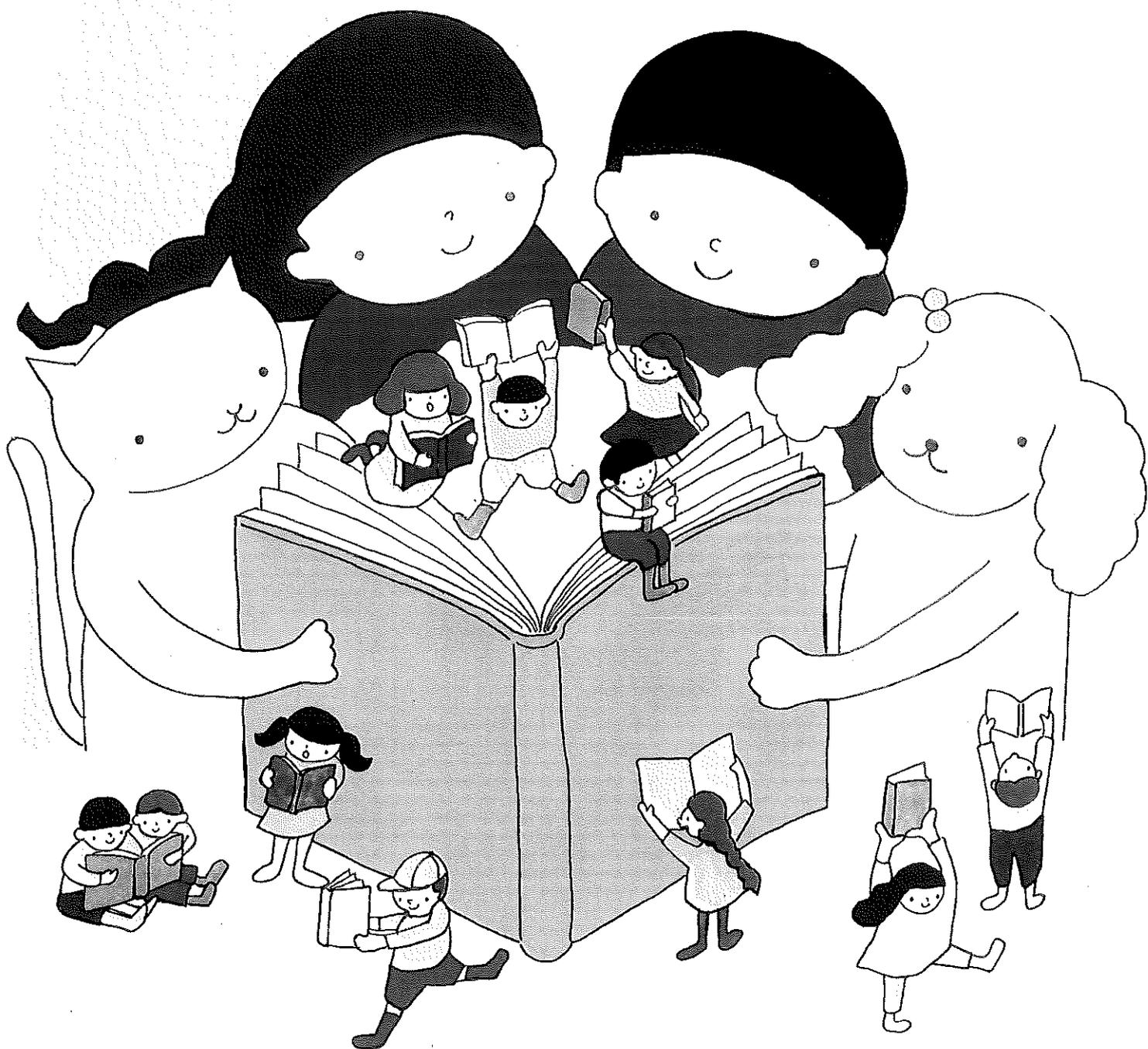


好きな本に出あう 新しい世界に出あう

～子どもの未来を創る 読書の力～



伊賀市教育委員会

伊賀市では、学校や家庭での読書推進活動として小学校低学年までは、保護者と一緒に本を読むきっかけをつくってもらい「この本いっしょに読もう!!」運動を、中学年から中学校にかけては、自ら本の世界を楽しむことをすすめる「この本おもしろいよ!!」運動を進めています。



学校で

こども新聞

気になる記事や面白い記事を1枚にまとめて掲示する「切り抜き新聞」や、みんなに紹介する「まわしよみ新聞」など新聞に親しみ、じっくり読む取組です。

ビブリオバトル

「書評合戦」ともいいます。面白いと思った本を紹介しあい、「どの本が一番読みたくなったか」を多数決で選ぶ活動です。

朝の読書など

他にもいろいろ…

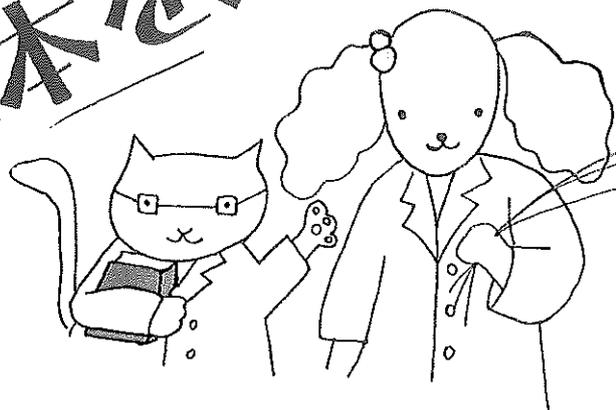
- ・読み聞かせボランティアによるブックトーク
- ・全校読書週間
- ・保育所(園)・幼稚園への読み聞かせ など

味見読書

「あじみどくしょ」と読みます。味見をするように様々なジャンルの本を3分間ずつどんどん読んでいき、自分の好きな本に出会う取組です。

好きな本を、好きな時間

言葉で学



子どもたちにとって、
あい、その世
までも心に残

人生をより豊かに、深く生きる力になるよ。

お家で

家読

族や身近な人と本を読んで感想を話しあったり、好きな本をすすめあったりする取組です。家読(うちどく)の日を決め、家族みんなで本の世界を楽しむ時間をつくることもおすすめです。

読み聞かせ

好きな本を、好きなように、声に出して読み聞かせることで、言葉や表現、物語そのものをいっしょに楽しむことができます。



地域で

おはなし会

絵本や紙芝居などの読み聞かせをしています。子どもから大人まで一緒に物語の世界を楽しむことができます。

図書館

様々な本に出あえる場所です。何を读もうか、悩んだ時には相談にものってくれます。

書店

お気に入りの本に出あえたら、ぜひ書店にも行ってみましょう。自分のお気に入りの本は一生の宝物になるでしょう。



好きな場所で

本を読むとどんな力がつくの？

想像力
感性を磨く
思考力
表現力
創造力を高める

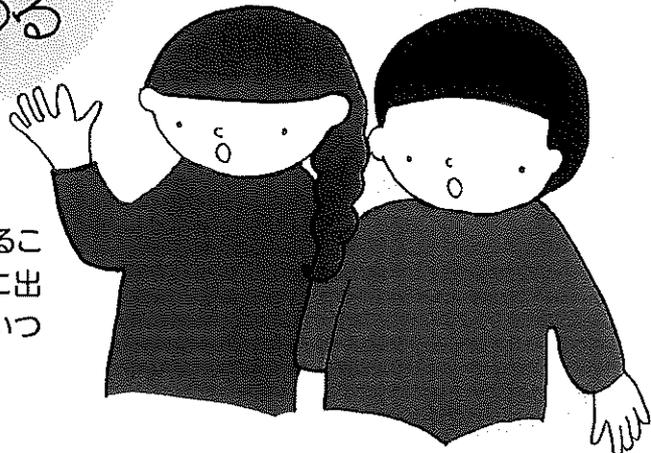
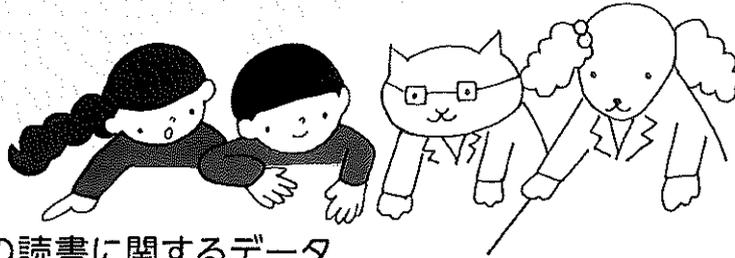


illustration: tamaki nao

なのは、「本を読む力」そのものではなく、「読む力」を育てる「力」を身に付けることです。子どもの時に様々な本に出会った経験や喜びは、国語力を向上させるだけでなく、いつか生きる力として人生を豊かなものにします。

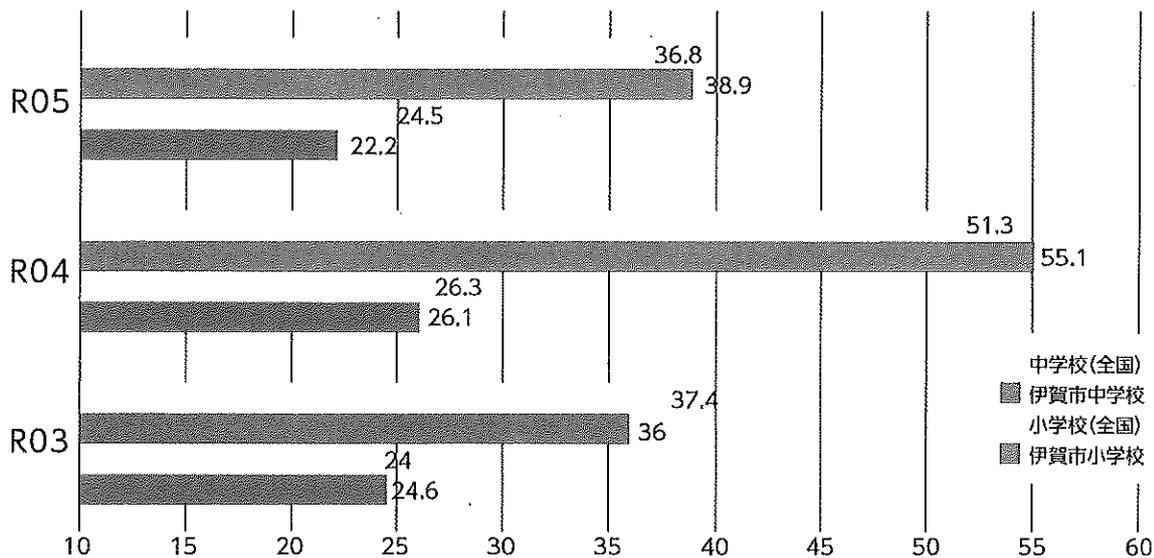
このリーフレットについて

このリーフレットは、読書の楽しさ、すばらしさを多くの人に知ってもらうために作りました。学校、家庭、地域で行われている読書活動について知ったり、読書の大切さについて考えるきっかけにしたりしてください。



伊賀市の子どもの読書に関するデータ

平日の読書時間が全くないという児童生徒の割合



全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙によると、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか」の設問について、「全くしない」と答えた伊賀市児童生徒の割合は、令和5年では小学校で22.2%、中学校では38.9%と高い値となっています。

国立青少年教育振興機構「子どもの頃の読書活動の効果に関する調査研究」（令和3年8月）によると、子どもの頃の読書量が多い人は、非認知能力と認知機能が高い傾向があるという結果があります。非認知能力とは、数値で測ることのできない人間的な力であり、好奇心やあきらめずがんばる力、コミュニケーション能力、協調性や思いやりといった、人間形成にとって重要な力のことです。読書を通して、楽しみながら非認知能力を育むことができます。

「子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」*です。子どもたちが自主的に読書活動ができるよう、学校で、家庭で、地域で読書をしていきましょう。

*「子どもの読書活動の推進に関する法律」第二条基本理念

【お問い合わせ】 伊賀市役所（伊賀市四十九町3184番地）
学校教育課：22-9649